

2026年3月31日  
商工中金

**建設関連事業を総合的に手掛ける仮設機材工業株式会社に対し、  
ポジティブ・インパクト・ファイナンスでサポート**

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕 以下商工中金）の酒田支店は、仮設機材工業株式会社（本社：山形県酒田市、代表者：西村 修）に対し、サステナブル経営に必要な資金として3億円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、建設資材の販売やレンタル・リース、各種工事施工、不動産事業等を手掛けています。専門性と建設現場のニーズに対する一貫対応を強みに、地域社会の持続的な発展に貢献しています。

今回同社は、太陽光発電設備の更なる導入による省エネルギー化の推進や、働きやすい職場環境の整備等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関する KPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社 KPI 詳細は、商工中金 HP 掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた綿密な事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

**【仮設機材工業株式会社の概要】**

所在地	山形県酒田市こがね町一丁目 22-12
代表者	西村 修
資本金	9,800 万円
従業員数	71 名（2025 年 11 月時点）
設立	1986 年 4 月
業種	土木・建設資材卸売



【同社 太陽光発電施設】

(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

